

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	尚美学園大学
設置者名	学校法人尚美学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
芸術情報学部	情報表現学科	夜・通信	6	8	23	37	13	
	音楽表現学科	夜・通信			14	28	13	
	音楽応用学科	夜・通信			47	61	13	
	舞台表現学科	夜・通信			18	32	13	
総合政策学部	総合政策学科	夜・通信	0		14	20	13	
	ライフマネジメント学科	夜・通信			16	22	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

- 学内掲示板にて「実務経験のある教員等による授業科目」一覧表を掲示している。
- 尚美学園大学 Web ページ (<https://www.shobi-u.ac.jp>) にリンクを作成し、「SHOBI UNIVERSITY WEB SERVICE (https://portal.shobi-u.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx)」からシラバスを検索できるようにしている。備考欄に「実務経験のある教員等による授業」である旨記載並びにタイトル欄に検索できるよう「☆☆」を記入、学生に周知している。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	尚美学園大学
設置者名	学校法人尚美学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人尚美学園 Web ページにて役員名簿を公表している。

<http://www.shobigakuen.ac.jp/info.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日 (前任者の残任期間)	学校運営担当
非常勤	会社役員	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日 (前任者の残任期間)	学校運営担当
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	尚美学園大学
設置者名	学校法人尚美学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>●授業計画書(シラバス)の作成過程 カリキュラムにより開講するすべての授業について、担当する教員に作成を依頼する。シラバスの内容は、大学設置基準及び中央教育審議会答申の用語集に記された内容(授業の方法及び内容、授業の回数と計画、到達目標、授業評価の方法や基準、準備学習や復習等の授業外での学習、教科書と参考文献、履修方法、実務経験のある教員の記載等)を網羅し、シラバス作成の手引き並びに「教員 HANDBOOK」の要領に従って作成する。担当教員は授業全体をデザインし、明確な目標や内容を記して学生に提示し、学生はシラバスを履修決定の際の参考にすることや、履修の際の授業目標、毎回の授業の準備や復習、授業評価の確認や基準を理解すること等に使用する。また、学生が授業評価を行う際の基準としても活用される。</p> <p>●授業計画書の作成・公表時期 毎年 12 月に授業担当教員に依頼し、3 月後半にホームページ上に公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	尚美学園大学 Web ページ(https://www.shobi-u.ac.jp) にリンクを作成し、 「SHOBI UNIVERSITY WEB SERVICE (https://portal.shobi-u.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx)」からシラバスを検索できるようにしている。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学では、学修の評価方法並びに学期末考査の実施について学則に定め、これに拠った授業計画書(シラバス)の成績評価の方法と基準により、厳格かつ適正な評価を行い、学期末総合点を算出(0~100 点)している。総合点の 100~60 点を合格として単位を付与し、59 点以下を不合格としている。また、原則出席回数が 2/3 に満たない場合、期末筆記試験を欠席した場合及びレポートや課題の未提出があった場合には点数評価をしない規定を設けている。成績評価の基準は 100~90 点(秀)、89~80 点(優)、79~70 点(良)、69~60 点(可)、59 点以下(不可)と到達度の段階を示している。合格となった場合のみカリキュラム及び授業計画書(シラバス)に示された単位を授与することとしている。また、授業毎の成績評価の分布状況を学生にフィードバックすることや授業アンケートを実施することで評価の適正性の維持を図っている。</p> <p>学生に毎年 4 月に成績表を配付し、カリキュラム内容と学修状況を理解させたいので、今期の授業計画書(シラバス)とともに、学修計画をたてるよう指導し、カリキュラム表に基づいた履修と合格した科目の単位授与を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>●本学におけるGPAの内容(指標の算出方法) 各学期末に行われる成績評価(総合点)によって行う。 100～60点は合格、59点以下は不合格。カッコ内はグレードポイント(GP) 秀(4)100～90点、優(3)89～80点、良(2)79～70点、可(1)69～60点、不可(0)59点以下、失格・欠席(0) GPAの計算式: $GPA = (GP \times \text{単位数}) \text{の総和} \div \text{履修単位数の総和}$ (GPAは、小数点第三位の値を四捨五入し、小数点第二位までとする)</p> <p>●本学におけるGPAの適切な実施状況 本学では春学期(前期)及び秋学期(後期)の期末試験実施終了後、それぞれ確定した成績をもとにGPA計算式により算出し、成績表に過去のGPAの数値の推移とともに記載し、学生に配付(フィードバック)している。そのGPAの状況により、指導担当者(アドバイザー)より履修指導を実施している。また、GPAが基準を上回った場合には、履修上限単位数を22単位から26単位にする対応も行っている。 授業の成績分布状況は、学期毎に成績評価の比率(指標の比率)を公表している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>「学生HANDBOOK」に記載し、毎年4月に配付・公表している。 また、尚美学園大学Webページの「大学基本情報(https://www.shobi-u.ac.jp/_webroot/pdf/disclosure/joho2019.pdf)」に記載し、公表している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学の教育理念に基づき、各学部の人材養成及び教育研究上の目的を達成するため、3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)を定め、本学Webページ及び「学生HANDBOOK」に記載し、公表している。各学部に設定したディプロマ・ポリシーは以下のとおり。</p> <p>●芸術情報学部 芸術を通して社会に貢献し得る専門性をもった人材を養成 様々な芸術表現と、メディアを駆使した表現を追求し、社会的に通用する幅広い分野にわたっての専門的能力を備えた人材を養成します。</p> <p>●総合政策学部 多様性の時代を生きる感性を養い、問題解決能力と実践力に富んだ人材を育てる 現代社会における様々な政策課題を様々な分野にわたって研究し、問題発見—問題解決型の思考様式にもとづいて政策立案し、実行できる人材を養成します。</p> <p>本学では上記ディプロマ・ポリシーに基づくカリキュラムにおいて、必要な資質・能力が身に付けられる授業を配置している。年次進行で取得する科目を定めるとともに、求める資質・能力が明確になるよう、重要科目は必修とし、科目区分毎に選択必修を定めている。また、半期(前期・後期)毎に単位取得状況を学生にフィードバックし、学生が資質・能力の修得状況を確認できるようにしている。 卒業(学位授与)は、本学学部に4年以上在学し、科目区分の条件を満たした上で、卒業要件124単位以上を修得したものについて、教授会の議を経て、学長が認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>「学生HANDBOOK」に記載し、毎年4月に配付・公表している。 また、尚美学園大学Webページの「3つのポリシー(https://www.shobi-u.ac.jp/about/policy/)」で公表している。</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	尚美学園大学
設置者名	学校法人尚美学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人尚美学園 Web ページの事業報告書・財務状況等内で公表している。 http://www.shobigakuen.ac.jp/info.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.shobi-u.ac.jp/navi/disclosure/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 芸術情報学部／総合政策学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.shobi-u.ac.jp/_webroot/pdf/disclosure/joho2019.pdf ）
<p>（概要）</p> <p>●芸術情報学部 様々な芸術表現とメディアを駆使した表現を追求するため、社会的に通用する情報表現及び音楽表現における幅広い分野にわたっての専門的能力を持った人材を養成することを目的とする。</p> <p>・情報表現学科 社会の高度情報化において、従来の芸術教育に情報・メディアコミュニケーションを統合した先見的な教育研究を行うことを目的とする。</p> <p>・音楽表現学科 器楽、声楽、ジャズ&ポップス、音楽創作及び音楽ビジネスの各分野における専門性の追求と同時に多角的な視座を養う教育研究を行うことを目的とする。</p> <p>・音楽応用学科 音楽ビジネスの世界における音楽制作と音楽産業の各分野の専門性の追求と同時に多角的な視座を養う教育研究を行うことを目的とする。</p> <p>・舞台表現学科 舞台における表現を実践的かつ理論的に追求し、舞台芸術の伝統を踏まえ、あらゆる視座から将来への可能性を広げる教育研究を行うことを目的とする。</p> <p>●総合政策学部 現代社会におけるさまざまな政策課題を、政治、経済、法律、情報、文化などの諸分野にわたって研究し、問題発見—問題解決型の思考様式に基づいて政策立案できる人材を養成することを目的とする。</p> <p>・総合政策学科 社会科学の専門的知識を学び、国、地方自治体、企業、団体などの抱える政策課題を研究し、そのうえで問題解決を図ることができるような人材を養成することを目的とする。</p> <p>・ライフマネジメント学科 文化政策全般にわたる基礎的理解を通じて、政策学の視点から文化や芸術、スポーツを研究するとともに、文化活動の推進、育成を支援する人材を養成することを目的とする。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.shobi-u.ac.jp/about/policy/ ）
<p>（概要）</p> <p>●芸術情報学部 芸術を通して社会に貢献し得る専門性をもった人材を養成 様々な芸術表現と、メディアを駆使した表現を追求し、社会的に通用する幅広い分野にわたっての専門的能力を備えた人材を養成します。</p> <p>●総合政策学部 多様性の時代を生きる感性を養い、問題解決能力と実践力に富んだ人材を育てる 現代社会における様々な政策課題を様々な分野にわたって研究し、問題発見—問題解決型の思考様式にもとづいて政策立案し、実行できる人材を養成します。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法： https://www.shobi-u.ac.jp/about/policy/ ）

<p>(概要)</p> <p>●芸術情報学部 新たな時代に対応した専門教育により可能性豊かな人間性を獲得する 「芸術と科学の融合」をコンセプトとした専門教育の実現。学科間の垣根を外し、お互いの学びを知り、共同制作するコラボレーション科目は、“芸術と科学の融合”をカリキュラム化した、本学ならではの特色です。</p> <p>●総合政策学部 社会、文化、人間に対する理解を深め、現代社会での実践を目指す 多角的な視点から、様々な課題・問題を学科やコース特性を活かしながら分析・探究することにより、社会・文化・人間に対する理解を深め、現代社会の中でそれを実践していくことができるカリキュラムを展開します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.shobi-u.ac.jp/about/policy/）</p>
<p>(概要)</p> <p>●芸術情報学部 ・芸術と科学、双方に対する興味、理解、学習意欲があり、社会が求める新しい表現技術を自分なりに創造・開発したいというチャレンジ精神がある方 ・視野を広げた総合能力を身につけ、現代社会を的確に見据えた課題提案・探求・解決能力という専門性を修得したいという意欲に満ちている方 ・単なる知識や技術の修得に留まらず、リベラルアーツ(基礎教養)を根底にした学びを通し、感性を高め、人間性をも向上させていきたいと考えている方</p> <p>●総合政策学部 ・建学の精神「智と愛」のもとに、明確な目的意識をもって関心を抱いている分野を探究していこうと考えている方 ・大学での学修を通して、問題発見―問題解決型の思考様式を身につけようとする意欲をもっている方 ・文化活動やスポーツを通して、心豊かな社会の形成に寄与する人間になろうと考えている方</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：https://www.shobi-u.ac.jp/_webroot/pdf/disclosure/joho2019.pdf</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
芸術情報学部	—	25人	15人	9人	0人	0人	49人
総合政策学部	—	15人	7人	5人	1人	0人	28人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		257人					257人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.shobi-u.ac.jp/navi/disclosure/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
芸術情報学部	400人	514人	128.5%	1,700人	1,676人	98.6%	50人	12人
総合政策学部	260人	337人	129.6%	1,040人	967人	93.0%	0人	3人
合計	660人	851人	128.9%	2,740人	2,643人	96.5%	50人	15人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
芸術情報学部	340人 (100%)	12人 (3.5%)	240人 (70.6%)	88人 (25.9%)
総合政策学部	210人 (100%)	1人 (0.5%)	162人 (77.1%)	47人 (22.4%)
合計	550人 (100%)	13人 (2.4%)	402人 (73.1%)	135人 (24.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画は、シラバスとして毎年3月に Web ページ上で公表している。</p> <p>担当教員は計画など授業全体をデザインし、明確な目標や内容をシラバスに記して学生に提示している。学生はこれにより、履修決定の際の参考とするとともに、毎回の授業目標の確認、準備学習や復習、授業評価の基準を理解すること等に利用している。</p> <p>シラバスの内容は、大学設置基準及び中央教育審議会答申の用語集に記された内容(授業の方法及び内容、授業の回数と計画、到達目標、授業評価の方法や基準、準備学習や復習等の授業外での学習、教科書と参考文献、履修方法、実務経験のある教員の記載等)に準拠するよう作成の手引き並びに「教員 HANDBOOK」の要領に沿って作成している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準は学則で定め、「学生 HANDBOOK」及び本学 Web ページに掲載している。</p> <p>授業計画書(シラバス)の成績評価の方法と基準により、厳格かつ適正な評価を行い、学期末総合点を算出(0~100点)している。総合点の100~60点を合格として単位を付与し、59点以下を不合格としている。また、原則出席回数が2/3に満たない場合、期末筆記試験を欠席した場合及びレポートや課題の未提出があった場合には点数評価をしない規定を設けている。成績評価の基準は100~90点(秀)、89~80点(優)、79~70点(良)、69~60点(可)、59点以下(不可)と到達度の段階を示している。</p> <p>卒業(学位授与)は、本学学部にて4年以上在学し、科目区分の条件を満たした上で、卒業要件124単位以上を修得したものであることについて、教授会の議を経て、学長が認定している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
芸術情報学部	情報表現学科	124 単位	有・無	単位
	音楽表現学科	124 単位	有・無	単位
	音楽応用学科	124 単位	有・無	単位
	舞台表現学科	124 単位	有・無	単位
総合政策学部	総合政策学科	124 単位	有・無	単位
	ライフマネジメント学科	124 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.shobi-u.ac.jp/about/campus/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
芸術情報学部	情報表現学科	850,000 円	370,000 円	380,000 円	
	音楽表現学科	1,100,000 円	370,000 円	380,000 円	
	音楽応用学科	1,100,000 円	370,000 円	380,000 円	
	舞台表現学科	1,100,000 円	370,000 円	380,000 円	
総合政策学部	総合政策学科	680,000 円	280,000 円	220,000 円	
	ライフマネジメント学科	680,000 円	280,000 円	220,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

●アドバイザー制度

学生一人ひとりに専任教員がつき、履修状況や個性、将来の夢などを把握したうえで、学校生活や学業の進み具合、進路などをマンツーマンでアドバイスします。GPA で示された客観的な成績と夢の実現に向けた履修プランを立て、その学生の能力を最大限に活かせる有意義な学生生活が送れるようにサポートします。

●オフィスアワー

本学の全教員が週に1コマ90分、その教員の研究分野や専門のことや、教員の知識や技能のことについて、学生と自由に交流出来る時間を設けています。学生はオフィスアワーを活用することで興味のある分野や人物等について、直接エキスパートな教員の話聞き、知識を広げることが出来ます。

●学生総合アシスト室

学生総合アシスト室では、学生生活支援制度に基づき、学業上の困難などについて、専門のスタッフが相談に乗ります。また、自立した学生生活を送れるように、障害を含めた多様な特性・特徴のある学生に合わせた合理的な支援を目指し、学生課・カウンセリングルーム・保健室などの関連組織の教職員と一緒に協力して援助を行います。

●留学生サポート・海外留学・語学研修・国際交流

・語学学習相談

国際交流室では、学習支援として日本語と英語の教員が、語学に関する質問や相談など、幅広く受け付けています。参考図書や英字新聞、検定などの各種情報も取り揃えています。

・国際交流

尚美学園大学では、積極的に国際交流を進め、今日では、従来型の組織の枠をこえ、「人」と「活動」を中心に新しい国際交流のネットワーク構築を目指しています。これまでも多くの留学生を受け入れるとともに、カナダ、イギリス、アメリカ、ニュージーランドで海外研修を実施してきました。今後も国際交流を活発に展開し、実りあるネットワークづくりを推進します。

・海外交流

尚美学園大学では、様々な形で海外交流に取り組んでいます。直近では、芸術情報学部舞台表現学科ダンスコース学生が韓国の姉妹校である「又松情報大学」を訪問して、同大学グローバル実用音楽科ダンス専攻学生と交流し、学外イベントで合同パフォーマンスも披露しました。今後も国際交流室では、海外の大学や高等学校等と多様な交流を積極的に行うとともに、相互理解を深め共栄を図ります。

・海外研修

春または夏の長期休暇を利用し、これまでにワシントン D.C. (アメリカ)、バンクーバー (カナダ)、オ

ックスフォード(イギリス)、ハミルトン(ニュージーランド)などで語学教育プログラムの海外研修を実施してきました。2004年からはクライストチャーチ(ニュージーランド)の提携大学で約3週間、現地の家庭にホームステイしながら、インターナショナルクラスで英語を学ぶプログラムを実施しています。2017年度からはポर्टランド州立大学での研修を実施しています。様々な国の学生とコミュニケーションを取ることができ、語学だけでなく体験学習やホームステイを通じて文化に触れることが出来るなど、充実した内容となっているため、参加者から好評を得ています。海外研修は、正式科目として卒業単位が4単位認定されます。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

●キャリアサポートプログラム

学生の希望する進路に向け、学部の授業に加えて全学部学科で、キャリア関連講座やインターンシップなどの単位認定科目、エキストラプログラム(課外プログラム)を用意しています。学科・コースについても、計画的なキャリアアッププログラムを用意。3年次の就職支援には、自己分析、業界・会社研究、筆記・面接試験対策など実践的な知識やスキルを身につける「進路・就職セミナー」を開催。企業の人事担当者を招いた企業説明会も実施しています。

●キャリア・就職課

学生の進路・就職支援の拠点となっています。音楽や情報、行政やスポーツなどの志望業界別に学生個別の進路に添った活動へのアドバイスをしています。3年生進級時には、全員に個人面談を実施し、その後も履歴書添削や模擬面接などを行います。また、大企業から地元中小企業まで積極的に企業訪問を行い、求人開拓にも力を入れています。この他、留学生にも国際交流室と連携したサポートサービスを行っています。

・キャリア・カウンセリング

専門のカウンセラーが常駐し、個々に合った進路選択や就職活動のための個別相談を実施しています。

・キャリアサポート関連講座・就職対策講座の企画運営

就職活動をする上で不可欠な「エントリーシート」「履歴書」の書き方をはじめビジネスマナー、面接の受け方など就職活動で身につけておきたい知識や能力についての授業や講座を開催します。

・業界研究会・企業説明会の企画運営

業界・企業の現状をより良く理解するために、各業界で活躍している方をお招きして講演会を行う「業界研究会」や人事採用担当者の方から各企業の採用説明をさせていただく「企業説明会」を開催します。

・進路・就職情報検索 コーナーの開設

企業および就職関連サイトからのさまざまな情報収集や進路・就職関連図書の閲覧、貸出しも行っていきます。又、パソコンでの情報検索が可能なコーナーを設けています。

・インターンシップ支援

受入れ企業の開拓から参加学生とのマッチング、事前研修およびインターンシップ報告会などの運営を行っています。

・エキストラプログラム(ビジネススキル関連)講座の企画運営

主にビジネススキルの資格対策講座の企画運営を行っています。講座のラインナップ・内容の詳細については、各期のオリエンテーション時に配布する講座案内で確認してください。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

●カウンセリングルーム

学生の主に心の健康をサポートするため、有資格のカウンセラーが常駐し、日常的に相談や支援を行うカウンセリングルームを設置しています。例えば、授業のこと、友人関係、自分自身の問題、学業に関する悩み等、幅広く対応しています。

●保健室

学内でのケガ、急な体調不良などの応急処置をするのはもちろんのこと、健康チェック、健康相談にも応じています。身体のコンディションを良好に保つ方法を知りたいときや、健康についての不安を

感じたときなどにも利用してください。保健に関する有資格者(看護師)が担当します。

●校医(産業医)

医師による健康相談を受けることができます。来校日程は教務課・学生課前の掲示板にてお知らせしています。相談希望者は、一週間前までに保健室に申し出てください。症状などについて確認致します。

●学生総合アシスト室

学生総合アシスト室では、学修支援に関すること以外にも、学生生活支援制度に基づき、簡単な質問から、複雑な相談、悩みごと、学業上の困難などについて、専門のスタッフが相談に応じます。また、自立した学生生活を送れるように、多様な特性・特徴のある学生に合わせた合理的な支援を提供し、学生課・カウンセリングルーム・保健室なども連携した、学生生活維持のための援助を行います。

●トレーニングルーム

日々の健康維持や体力向上のため、トレーニングルームを設けています。担当者が学生毎のプログラムを組み、機器の操作をサポートするなど、トレーニングジムと同様の機能を有しています。また、危険防止のため講習を受け、担当者の指示の下で使用する仕組みとしています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.shobi-u.ac.jp/_webroot/pdf/disclosure/joho2019.pdf